

科目名	脱臼理論							年度	2026		
英語科目名	The dislocation general remarks							学期	前期		
学科・学年	柔道整復科 2年次			必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	有山敦士、杉本知、後藤晃弘、青木伊之、加藤健太、宮本功三、秋田雄大			教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 柔道整復師が施術で行う脱臼について顎関節・胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節の脱臼における症状や合併症などの知識と整復及び固定の技術を習得する。											
【科目の概要】 部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。											
【到達目標】 柔道整復師として臨床現場で遭遇する上肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践してできる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目的とする。											
【授業の注意点】 医療人としての資質をはぐくむため受講態度や私語などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めないと共に、公共交通機関の遅延等が予測される場合はそれに対応できるようにすること。1年生からの継続した内容が必要となるため、骨折・軟部組織損傷などの他教科も合わせた予習・復習が必要である。授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	顎関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	顎関節脱臼についてよく理解している。	顎関節脱臼について理解している。	顎関節脱臼についてあまり理解していない。	顎関節脱臼について全く理解していない。						
到達目標 B	胸鎖関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	胸鎖関節脱臼についてよく理解している。	胸鎖関節脱臼について理解している。	胸鎖関節脱臼についてあまり理解していない。	胸鎖関節脱臼について全く理解していない。						
到達目標 C	肩鎖関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩鎖関節脱臼についてよく理解している。	肩鎖関節脱臼について理解している。	肩鎖関節脱臼についてあまり理解していない。	肩鎖関節脱臼について全く理解していない。						
到達目標 D	肩関節前方(烏口下)脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩関節前方(烏口下)脱臼についてよく理解している。	肩関節前方(烏口下)脱臼について理解している。	肩関節前方(烏口下)脱臼についてあまり理解していない。	肩関節前方(烏口下)脱臼について全く理解していない。						
到達目標 E	肩関節後方・下方脱臼についてよく理解し、説明することができる。	肩関節後方・下方脱臼についてよく理解している。	肩関節後方・下方脱臼について理解している。	肩関節後方・下方脱臼についてあまり理解していない。	肩関節後方・下方脱臼について全く理解していない。						
【教科書】 教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会監修-）に準拠する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験による評価											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

科目名		脱臼理論			年度	2026
英語表記		The dislocation general remarks			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	脱臼について	頭部の脱臼、上肢の脱臼、下肢の脱臼とは何か？	1 頭部の脱臼	頭頸部の脱臼について概要を理解している。	3	
			2 上肢の脱臼	上肢の脱臼について概要を理解している。		
			3 下肢の脱臼	下肢の脱臼について概要を理解している。		
2	顎関節前方脱臼	顎関節前方脱臼は発症時どのような症状を呈するのか。	1 顎関節の構造	顎関節の構造を理解している。	3	
			2 顎関節脱臼の特徴	顎関節脱臼の特徴を理解している。		
			3 発生機序と症状	顎関節脱臼の発生と症状（両側・片側）を理解している。		
3	顎関節脱臼の整復法	顎関節前方脱臼を整復するにはどのような方法があるのか。	1 ヒポクラテス法	ヒポクラテス法を説明できる。	3	
			2 ボルカース法	ボルカース法を説明できる。		
			3 口外法	口外法を説明できる。		
4	顎関節後方脱臼・側方脱臼	顎関節後方脱臼、側方脱臼の特徴は何か。	1 後療法と後遺症	後療法、後遺症を理解している。	3	
			2 後方脱臼	後方脱臼を理解している。		
			3 側方脱臼	側方脱臼を理解している。		
5	胸鎖関節前方脱臼	胸鎖関節前方脱臼はどのようにして起こるのか。	1 分類	鎖骨の分類を理解している。	3	
			2 発生機序、症状	発生機序、症状を理解している。		
			3 整復、固定	整復法を説明できる。		
6	胸鎖関節上方脱臼 後方脱臼	胸鎖関節後方脱臼と判断した場合のように対応すべきか。	1 上方脱臼の発生・症状	上方脱臼の発生と症状を理解している。	3	
			2 後方脱臼の発生・症状	後方脱臼の発生と症状を理解している。		
			3 整復法	後方脱臼の整復法が説明できる。		
7	肩鎖関節上方脱臼	肩鎖関節脱臼はどのような症状をとるのか。	1 分類	肩鎖関節脱臼の分類を理解する。	3	
			2 発生機序	発生機序を理解している。		
			3 症状	症状を理解している。		
8	振り返り	前半を振り返る	1 顎関節脱臼	顎関節脱臼について説明できる。	3	
			2 胸鎖関節脱臼	胸鎖関節脱臼について説明できる。		
			3 肩鎖関節脱臼	肩鎖関節脱臼について説明できる。		
9	肩鎖関節上方脱臼	整復はどのように行うのか。	1 整復法	整復法を理解している。	3	
			2 固定法	固定法を理解している。		
			3 合併症、予後	合併症、予後を理解している。		
10	肩鎖関節下方脱臼 後方脱臼	鎖骨の外端が下方や後方にとどまる為には？	1 絆創膏固定	絆創膏固定を説明できる。	3	
			2 下方脱臼	下方脱臼について理解している。		
			3 後方脱臼	後方脱臼について理解している。		
11	肩関節脱臼 烏口下脱臼	肩関節脱臼はなぜ発生しやすいのか。	1 肩関節の構造	肩関節の構造を理解している。	3	
			2 分類	肩関節の分類を理解している。		
			3 発生機序	発生機序を理解している。		
12	烏口下脱臼	烏口下脱臼が発生した場合どのような症状がでるのか。	1 症状	症状を理解している。	3	
			2 合併症	合併症について理解している。		
			3 整復法	整復法を理解している。		
13	烏口下脱臼	整復はどのように行うのか。	1 コッヘル法	コッヘル法について説明できる。	3	
			2 ヒポクラテス法	ヒポクラテス法について説明できる。		
			3 後療法、鑑別	後療法、鑑別外傷について理解している。		
14	振り返り	後半の振り返り	1 胸鎖関節脱臼	胸鎖関節脱臼について説明できる。	3	
			2 肩鎖関節脱臼	肩鎖関節脱臼について説明できる。		
			3 肩関節脱臼	烏口下脱臼について説明できる。		
15	肩関節後方脱臼 下方脱臼 上方脱臼	後方脱臼や下方脱臼はどのような症状をとるのか。	1 後方脱臼	後方脱臼について理解している。	3	
			2 下方脱臼	下方脱臼について理解している。		
			3 上方脱臼	上方脱臼について理解している。		

評価方法：1. 小テスト、49. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等